

バルコニーの横格子手摺の作成

文書管理番号：1033-01

Q. 質問

バルコニーの手摺を横格子のデザインにしたい。

A. 回答

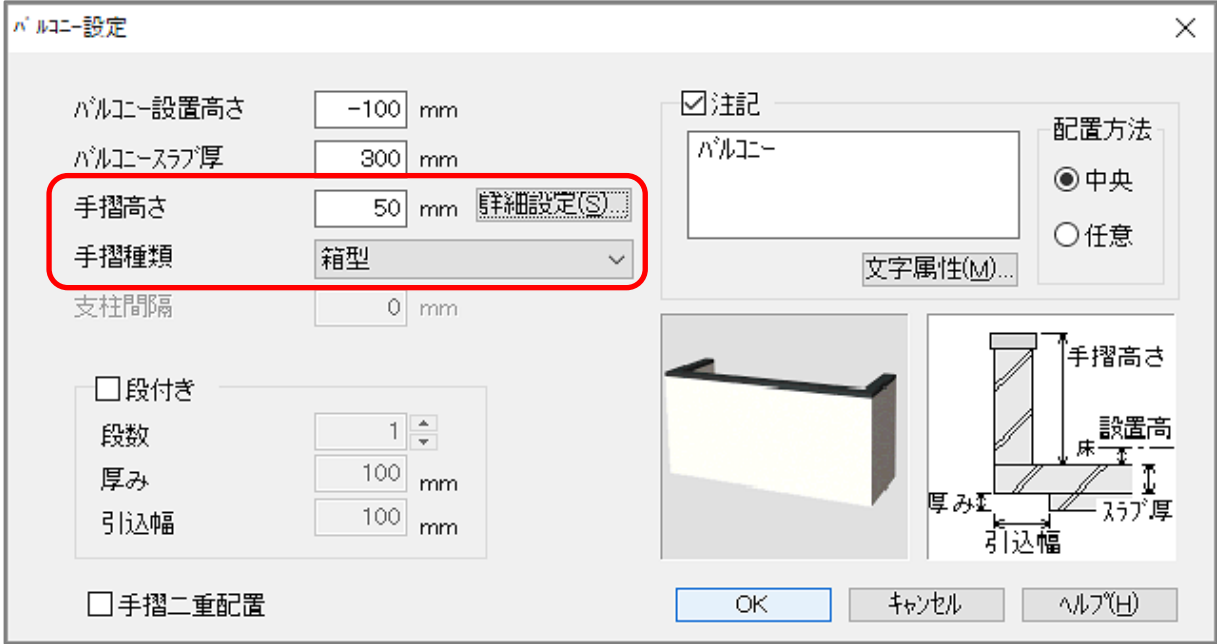
バルコニーの手摺を横格子にするには、プラン図の「スリット」機能を利用します。

「スリット」は、縦格子や横格子の飾りを表現するなど汎用的に利用できますが、ここではバルコニーの手摺を例に使用方法を紹介します。

操作手順

● バルコニー（スラブ部分）の配置

 (プラン図) の  (付属品) の  (バルコニー) で、バルコニーの手摺種類を「箱型」、手摺高さを「50」としてバルコニーを配置します。



バルコニー設定

バルコニー設置高さ: -100 mm

バルコニースラブ厚: 300 mm

手摺高さ: 50 mm [詳細設定\(S\)...](#)

手摺種類: 箱型

支柱間隔: 0 mm

☐ 段付き

段数: 1

厚み: 100 mm

引込幅: 100 mm

☐ 手摺二重配置

☒ 注記

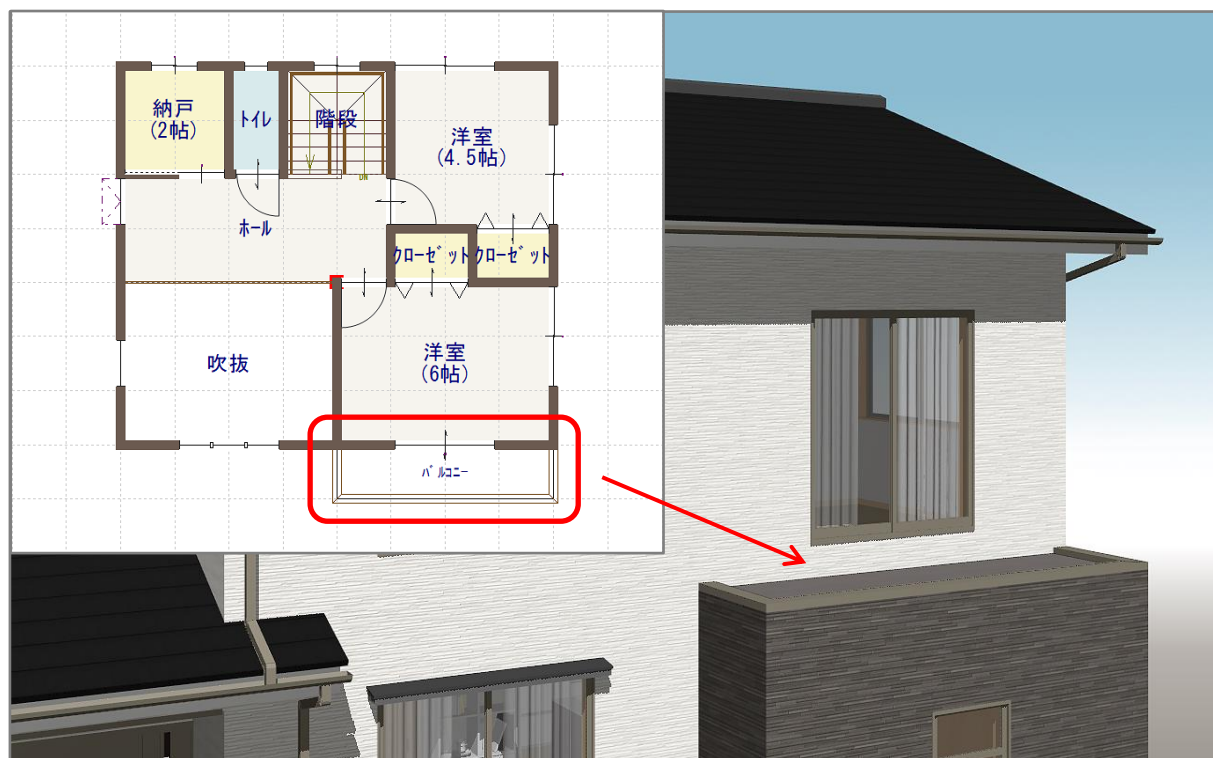
バルコニー

配置方法: ☒ 中央 ☐ 任意

[文字属性\(M\)...](#)

OK キャンセル ヘルプ(H)

* 下のような状態になります。



● スリットの設定

- ①  (付属品)の  (スリット)をクリック

* スリットの設定画面が表示されます。

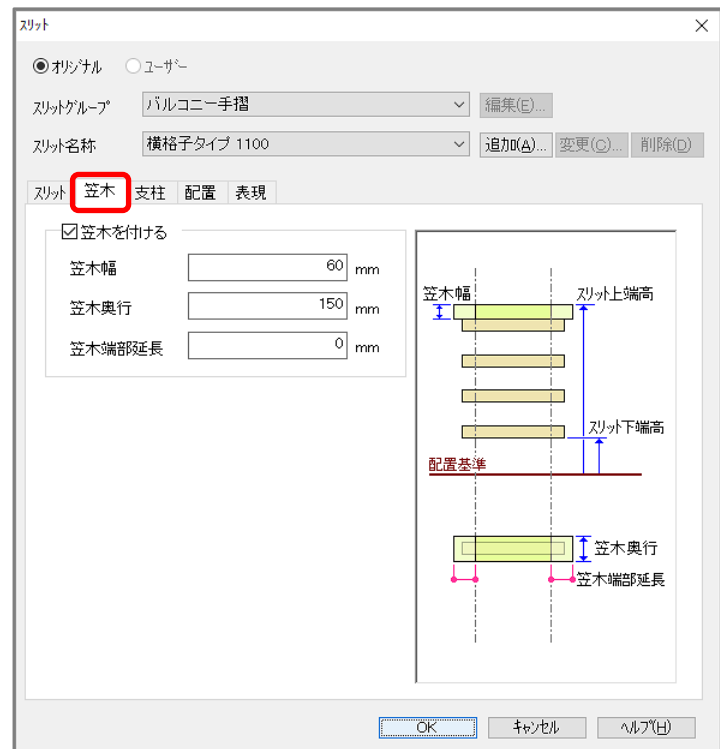
- ② スリットの設定で、スリットグループから「バルコニー手摺」、スリット名称から「横格子タイプ 1100」を選択し、「スリット」「笠木」「支柱」「配置」タブを切り替えて、それぞれ以下の内容に指定し「OK」をクリック

【スリット】

- * 「横格子」を選択
- * スリット上端高「1100」
- * スリット下端高「50」
- * スリット幅「70」
- * スリット奥行「50」
- * スリット間隔を格子ピッチ「100」

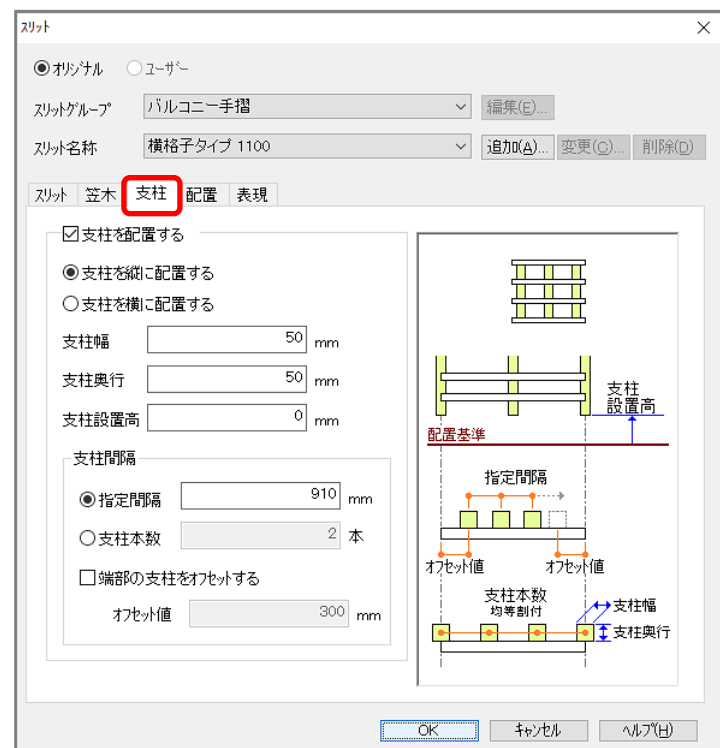
【笠木】

- * 「笠木を付ける」にチェック
- * 笠木幅「60」
- * 笠木奥行「150」



【支柱】

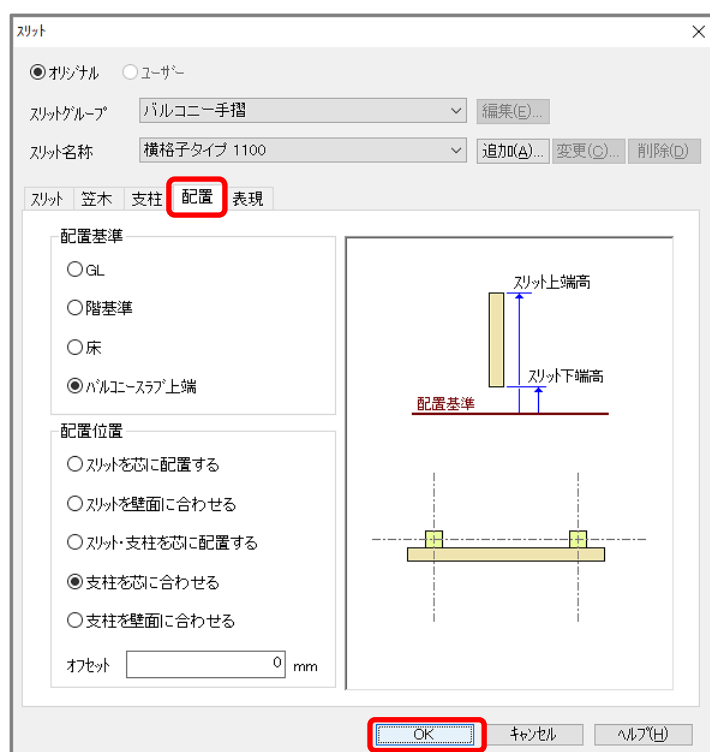
- * 「支柱を配置する」にチェック
- * 「支柱を縦に配置する」を選択
- * 支柱幅「50」
- * 支柱奥行「50」
- * 支柱間隔を指定間隔「910」



【配置】

- * 配置基準を「バルコニースラブ上端」
- * 配置位置を「支柱を芯に合わせる」

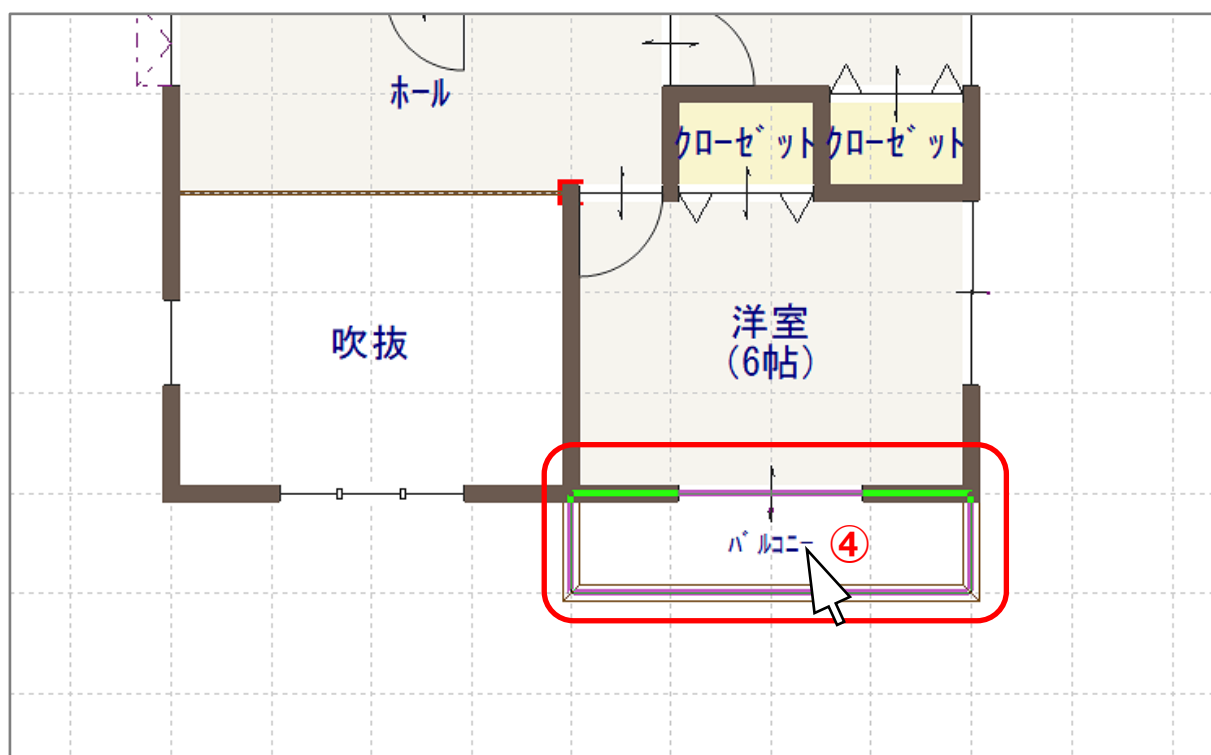
- * P.2 から P.4 までのスリットの設定はあくまで一例です。
ダイアログの挿絵の説明を参考に、実際のデザインにあわせて指定してください。



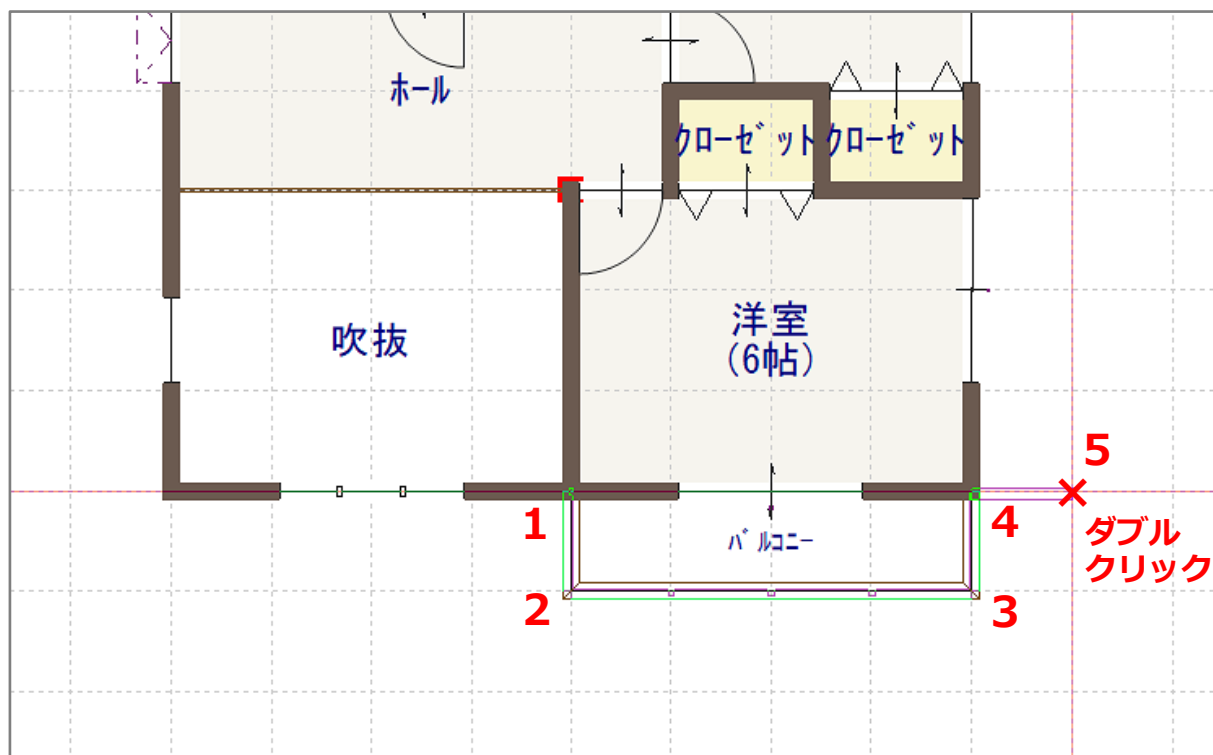
● バルコニー手摺位置にあわせてスリットを配置

- ③ 配置モードの  (連続配置) をクリック

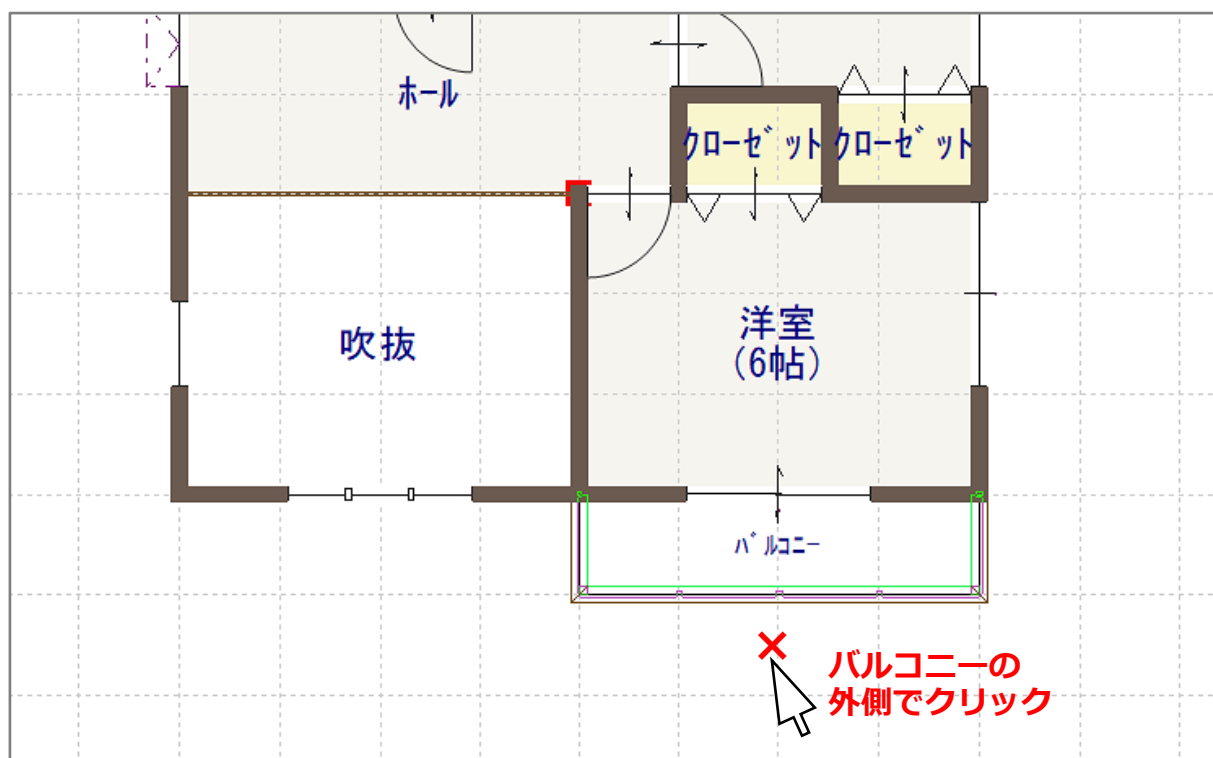
- ④ 配置するバルコニーをクリック



- ⑤ 下記のように 1→2→3→4 の順にクリックし、少し離して 5 でダブルクリック



- ⑥ バルコニーの外部側をクリック



* 入力確定されます。

⑦ (3D パース)で確認



参考

スリットの設定に名前をつけて管理し、あとから登録パターンを呼び出して利用することができます。
詳しい使用方法是、こちらをご覧ください。

[\[1164\] スリットの設定パターンの登録方法](#)